

<第107回調査>

2018年4月27日

### 【本調査の目的】

2009年6月の第1回調査を皮切りに、(株)外為どっとコムは口座開設者のお客様を対象として、「投資動向等に関するアンケート調査」を毎月定期的を実施していましたが、2010年8月の第15回調査より、その名称を「外為短期投資動向調査(略称:外為短観)」に改めました。本レポートは、同調査の結果に基づき、(株)外為どっとコム総合研究所がその一部を取りまとめるという形で対外的に公表するものです。

近年の外国為替市場において、本邦の外国為替保証金取引への関心が強まっているのは周知の通りですが、その実像を把握するのに必要な統計データ等の整備は、既存のマクロ経済データや金融関連データなどに比べて遅れているのが実情です。今後こうした調査を継続的に実施することで、時系列で比較した個人投資家層の相場感の変化や投資家属性別の投資動向の特徴などを精査し、当社の調査研究活動の深化につなげるとともに、その一部を社会に還元することが、本調査の目的です。

また、本調査におきましては、国内外の市場参加者が注目する各種イベント前後の時期に、不定期のアンケート調査の結果も公表いたします。定点観測の調査結果と合わせて、ご参考にして頂ければ幸いです。

### 【調査実施期間】

2018年4月17日(火)13:00～2018年4月24日(火)13:00

※毎月中旬から下旬にかけての1週間を調査期間としています。

### 【調査対象】

(株)外為どっとコムの『外貨ネクストネオ』に口座を開設のお客様層

### 【調査方法】

(株)外為どっとコムの口座開設者にメールでアンケート回答URLを送付。

今回の有効回答数は767件。

※必要項目を全て入力して回答して頂いたお客様を「有効回答数」としました。

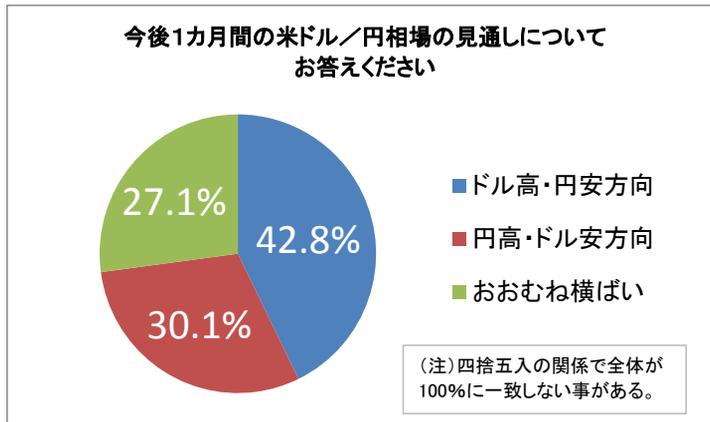
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【第107回調査結果略報：米ドル/円DIは今年初めての2ケタプラスに】

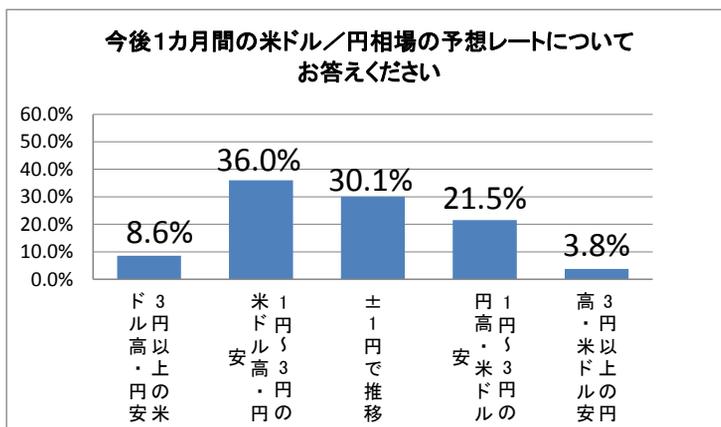
問1：今後1カ月間の米ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の見通し」については、「ドル高・円安方向」と答えた割合が42.8%であったのに対し「円高・ドル安方向」と答えた割合は30.1%であった。この結果「米ドル/円予想DI」は△12.7%ポイントと、2カ月連続でプラス圏を維持するとともに前回(△3.6%ポイント)から上昇して今年最高水準を記録した。調査期間中の米ドル/円相場は、米朝間の緊張緩和や米債利回りの上昇などを背景に106円台後半から108円台後半へと堅調に推移。前回3月調査の直後に付けた1年4カ月ぶり安値104.60円台からの切り返しの動きが鮮明になってきた。こうした動きが個人投資家の見通しを米ドル強気・円弱気に導き、今年初めて予想DIを2ケタのプラスに押し上げたと見られる。※過去の米ドル円予想DIの推移はP7-8に掲載。



問2：今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レートについてお答えください

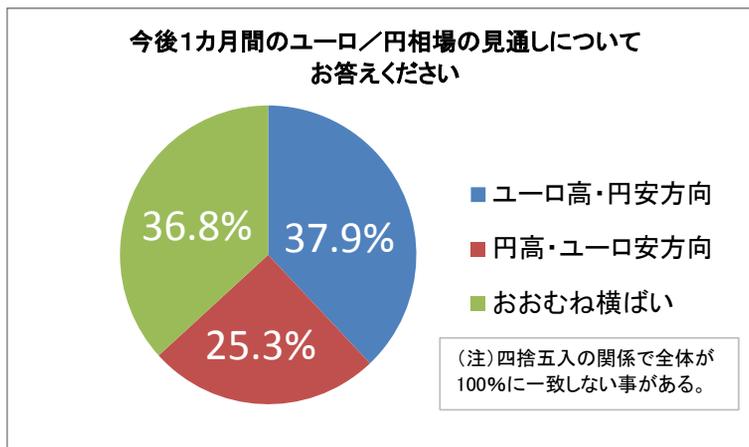
「今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レート」については、「1円～3円の米ドル高・円安」が36.0%と最も多く、「±1円で推移(30.1%)」、「1円～3円の円高・米ドル安(21.5%)」と続き、以下「3円以上の米ドル高・円安(8.6%)」、「3円以上の円高・米ドル安(3.8%)」の順になった。ヒストグラムの形状は米ドル高・円安側の左サイドに傾いており、問1の結果と整合的だ。もっとも、「3円以上の米ドル高・円安」と答えた割合は前回の8.2%からほとんど増えていない。米ドル/円相場は調査期間中に約2円米ドル高・円安が進んだが、ここからさらに3円以上の上昇を見込む向きは少なかったという事になる。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

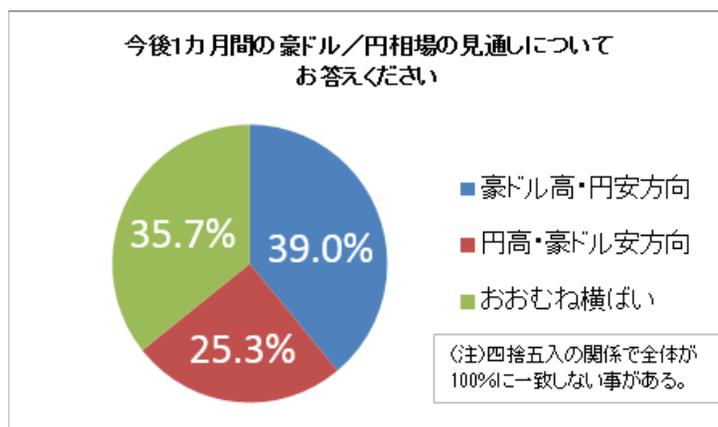
### 問3: 今後1カ月間のユーロ/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間のユーロ/円相場の見通し」については、「ユーロ高・円安方向」と答えた割合が37.9%であったのに対し、「円高・ユーロ安方向」と答えた割合が25.3%であった。この結果、「ユーロ/円予想DI」は△12.6%ポイントとなり、前回(△5.0%ポイント)から上昇してプラス圏を維持した。調査期間中のユーロ/円相場は、概ね132円台という狭いレンジ内でもみ合った。ユーロ/米ドルが下落した一方、米ドル/円が上昇したため、ユーロ/円には方向感が出なかった。そうした中であっても、予想DIは2ケタのプラス圏に上昇しており、個人投資家のユーロに対する信頼感が根強い様子が窺える。※過去のユーロ円予想DIの推移はP7-8に掲載。



### 問4: 今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通し」については、「豪ドル高・円安方向」と答えた割合が39.0%であったのに対し、「円高・豪ドル安方向」と答えた割合は25.3%であった。この結果「豪ドル/円予想DI」は△13.7%ポイントとなり、前回(△8.4%ポイント)から上昇してプラス圏を維持した。調査期間中の豪ドル/円相場は、ドル高の影響で豪ドル/米ドルが下落したため上値が重く、83円台から82円台へと小幅に下落した。とはいえ、米中貿易戦争などへの懸念が和らいでおり、世界的に株価にも落ち着きが戻りつつある中で、豪ドル弱気・円強気の見通しが強まる事はなかったようだ。※過去の豪ドル円予想DIの推移はP7-8に掲載。



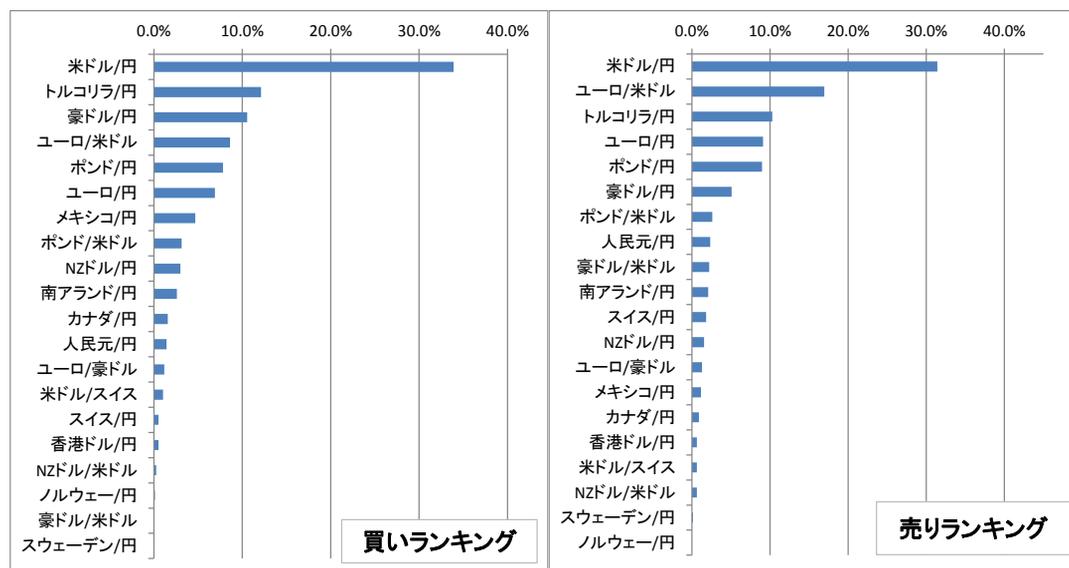
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

## 問5: 今後、注目の通貨ペアについてお答えください

「今後注目している通貨ペア」について尋ねたところ、「買い」で注目の通貨ペアは、米ドル/円が33.9%の回答割合を集めて1位となり、67カ月連続で首位をキープ。以下、トルコリラ/円(12.1%)、豪ドル/円(10.6%)、ユーロ/米ドル(8.6%)、ポンド/円(7.8%)の順に続いた。米ドル/円については安定の1位独走が続いているが、2位もトルコリラ/円がキープ。豪ドル/円が4位から3位に浮上するなど、スワップポイントが比較的高めの通貨ペアが「買い」で注目の上位に並んだのが印象的だ。

一方、「売り」で注目の通貨ペアは、米ドル/円が31.4%の回答割合で18カ月連続でトップを維持。以下、2位がユーロ/米ドル(16.9%)、3位はトルコリラ/円(10.3%)、4位ユーロ/円(9.1%)、5位ポンド/円(9.0%)の順に続いた。こちらはトルコリラ/円が前回の5位から3位に順位を上げたのが目を引く。トルコリラ/円相場は、調査期間中に前倒しのトルコ総選挙が決まった事を受けて急騰する場面があった。ただでさえ独裁的なエルドアン大統領に権限がさらに集中する可能性が高い事などから、トルコリラ相場の上昇は続かないと見ている個人投資家も少なくないようだ。

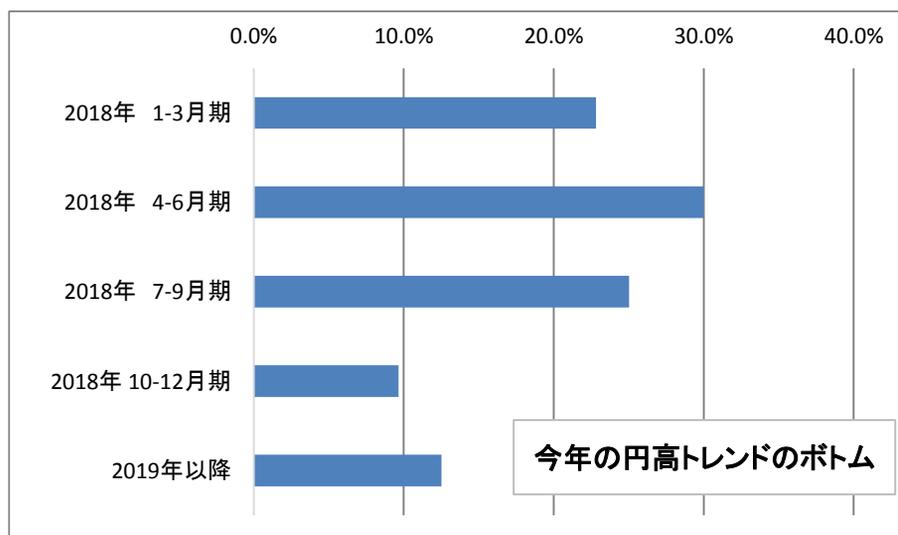


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

### 問6:ドル/円 2018年1月からの円高基調、円高トレンドボトムはいつだと思いますか。

今回の特別質問として、「ドル/円は2018年1月から円高基調ですが、今回の円高トレンドのボトムはいつだと思いますか?」と尋ねたところ、「2018年4-6月期」と答えた割合が30.0%と最も多かった。次いで「2018年7-9月期(25.0%)」、「2018年1-3月期(22.8%)」、「2019年以降(12.5%)」、「2018年10-12月期(9.6%)」という結果であった。今年3月に付けた104.62円前後が今年のボトムと見ている個人投資家は意外に少数という事になる。今月(4月)から秋口(9月)にかけて上記104.62円前後を下回るとの読みも浮かび上がる。問1では米ドル/円の堅調推移を見込む向きが多かったが、この回答を見る限り、個人投資家が足元の108円台前後の水準で米ドル/円を大きく買い越す可能性は低いように思われる。なお、今回の回答について、その理由を自由記述形式で尋ねたところ「2018年4-6月期」や「2018年7-9月期」にボトムをつけると予想した向きからは「米中間選挙に向けてドルが下がる」との指摘や「安倍政権の崩壊で円高」との見立てが示された。一方、「2018年1-3月期」にすでにボトムをつけ終わったとする向きは「下落トレンドはすでに終了」「111円を目指す」との意見が出ていた。

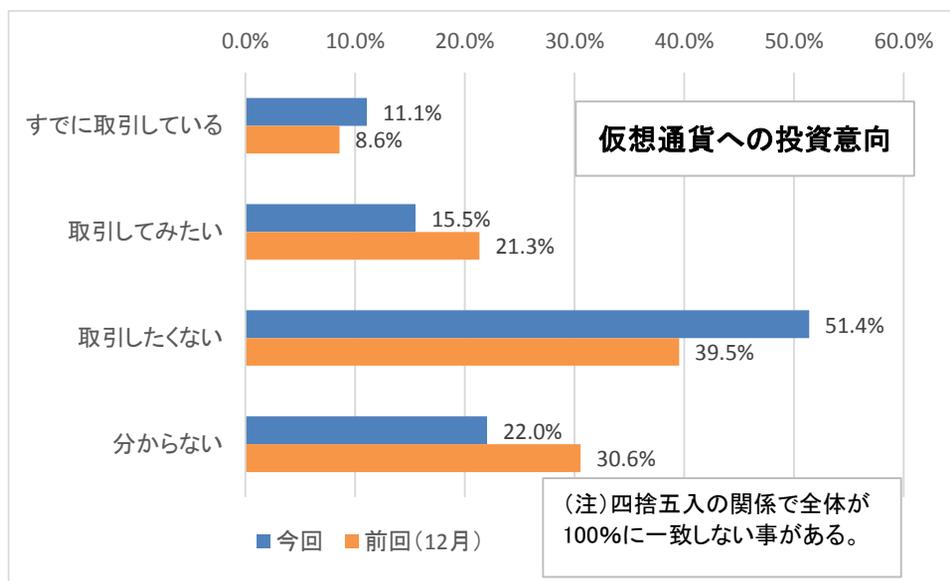


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

### 問6: ビットコインなど、仮想通貨への投資意向についてお答えください。(ひとつだけ)

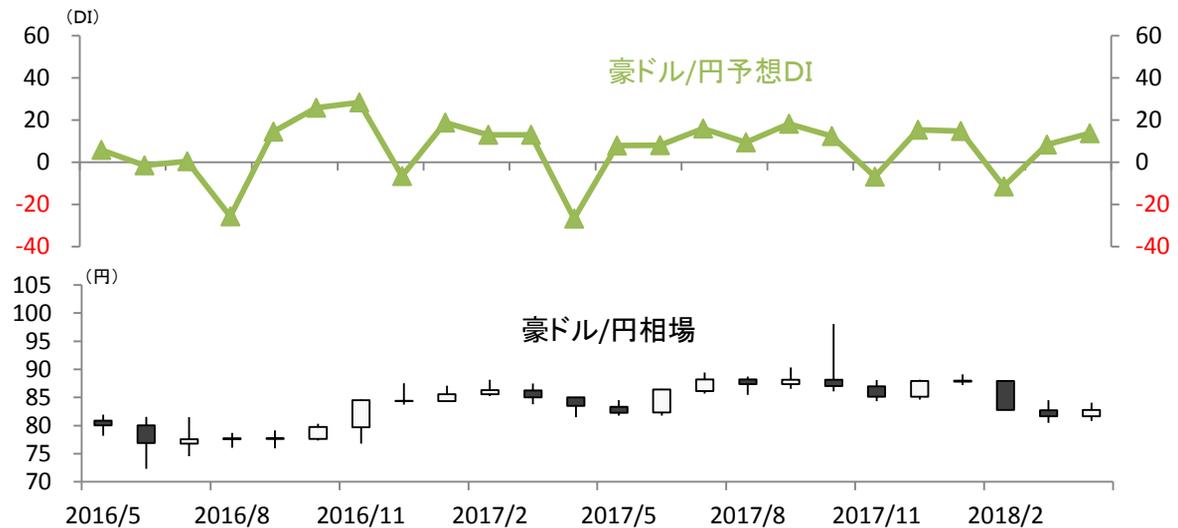
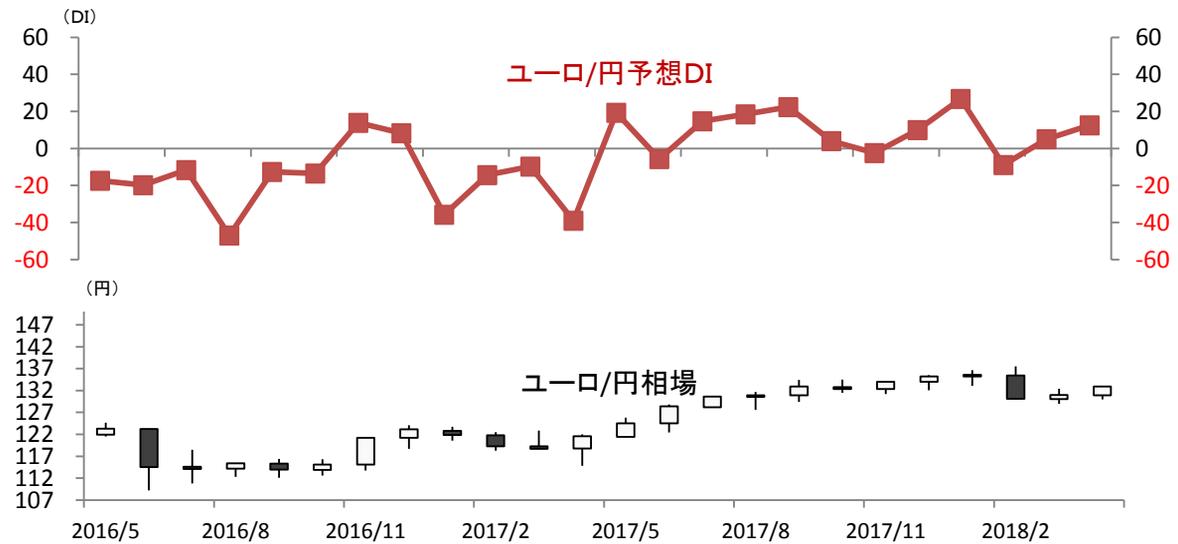
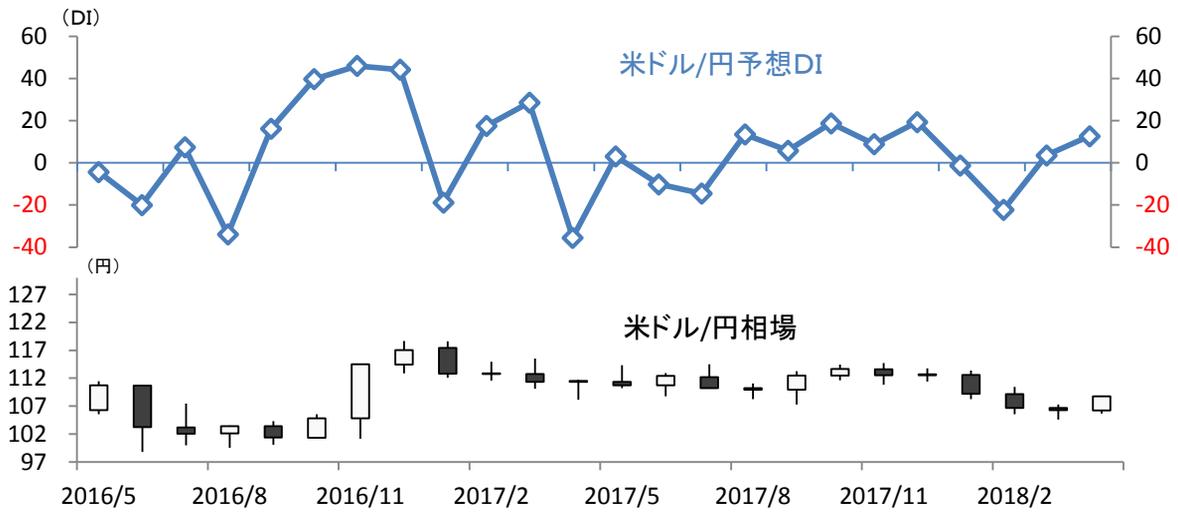
今回のもうひとつの特別質問として、「ビットコインなど、仮想通貨への投資意向についてお答えください。(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「取引したくない」が51.4%と最も多かった。次いで「分からない(22.0%)」、「取引してみたい(15.5%)」、「すでに取り引している(11.1%)」という結果であった。昨年12月の同内容の調査では「取引したくない」が39.5%で、「分からない(30.6%)」、「取引してみたい(21.3%)」、「すでに取り引している(8.6%)」という結果であった。今回、「すでに取り引している」層は2.5%ポイント増加したが、一方で「取引したくない」層は11.9%ポイントも増加。「取引してみたい」とした投資家予備軍は5.8%ポイント減少している。なお、その理由について自由記述形式で尋ねたところ、「取引したくない」とした向きからは「乱高下が激しすぎる」「リスクが高い」などのほか「税制面が不利」との指摘や「信用できない」との声も多かった。また「取引してみたい」と答えた向きからも「ただし、安全性が担保されてから」との声が挙がっていた。昨年末から今年始めにかけての大規模な相場変動や、取引所からの仮想通貨流出事件などが個人投資家にマイナスイメージを与えた可能性が高そうだ。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【付表:主要3通貨ペア予想DIと足の推移】



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

## 【今後の調査実施計画及び公表方針】

本調査も第107回目となりました。調査開始から8年以上が経過し、データの蓄積が進んできました。今後については、毎月定点観測で実施する調査結果を基に、予想DIの時系列比較から見出せるFX投資家の相場観の変化やその傾向などのほか、中長期的な視点に基づいたFX投資家の投資スタイルの変化などの考察も進めて行きたいと考えています。

なお、毎月の本調査においては、公表扱いとしている質問項目及び回答結果の他に、「投資家の属性」、「取引頻度」、「取引規模」、「取引時間帯」、「投資選好」など、投資家実態を把握するために必要な各種の質問項目も設けて集計しています。それらの回答結果を用いた投資家の実態報告や属性別のクロス・セクション分析等については、当研究所が1年に1回、毎年年初以降に公表する「外為白書」で紹介する予定です。

## 【付表：主要3通貨ペア予想DIの推移】

		米ドル/円			ユーロ/円			豪ドル/円		
		米ドル高	米ドル安	DI	ユーロ高	ユーロ安	DI	豪ドル高	豪ドル安	DI
2016年	5月	40.8	33.4	7.4	22.6	38.2	-11.6	35.7	35.3	0.4
	6月	26.3	60.2	-33.9	20.0	67.0	-47.0	24.8	50.5	-25.7
	7月	48.3	32.1	16.2	32.1	44.7	-12.6	44.2	29.8	14.4
	8月	26.5	48.9	-22.4	17.2	48.1	-30.9	25.9	40.2	-14.3
	9月	34.5	36.8	-2.3	23.8	38.0	-14.2	28.4	35.4	-7.0
	10月	57.3	17.6	39.7	24.2	37.7	-13.5	43.3	23.0	20.3
	11月	65.9	19.9	46.0	38.7	24.8	13.9	47.0	21.2	25.8
	12月	64.4	20.2	44.2	36.6	28.3	8.3	50.0	21.6	28.4
2017年	1月	35.2	54.0	-18.8	18.3	54.1	-35.8	28.9	35.5	-6.6
	2月	46.2	28.7	17.5	23.8	38.1	-14.3	41.9	23.1	18.8
	3月	53.3	24.7	28.6	27.6	37.4	-9.8	36.1	23.1	13.0
	4月	21.6	51.7	-35.5	17.7	56.6	-38.9	19.6	46.4	-26.8
	5月	38.4	35.3	3.1	45.9	26.5	19.4	34.9	27.0	7.9
	6月	33.3	43.4	-10.1	31.5	37.1	-5.6	33.7	25.7	8.0
	7月	30.7	45.2	-14.5	42.4	27.6	14.8	42.8	26.9	15.9
	8月	45.5	32.0	13.5	43.8	25.3	18.5	37.3	27.9	9.4
	9月	40.8	35.0	5.8	44.4	22.0	22.4	40.9	22.7	18.2
	10月	48.2	29.4	18.8	35.5	31.5	4.0	37.9	25.6	12.3
	11月	40.0	31.1	8.9	29.0	31.4	-2.4	26.9	33.8	-6.9
	12月	45.5	26.1	19.4	35.0	25.0	10.0	38.0	22.6	15.4
2018年	1月	38.0	39.2	-1.2	48.2	21.3	26.9	37.3	22.6	14.7
	2月	29.1	51.4	-22.3	30.1	38.9	-8.8	28.4	39.9	-11.5
	3月	39.6	36.0	3.6	34.0	29.0	5.0	38.6	30.2	8.4
	4月	42.8	30.1	12.7	37.9	25.3	12.6	39.0	25.3	13.7

(出所)外為どっとコム総合研究所

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com